



# BBS会の紹介

近畿地方BBS連盟 事務局 樋口尚子

## 1 BBSとは

BBSはアメリカ発祥でBig Brothers and Sistersの略です。戦争孤児の非行に対して、京都の大学生たちと当時の家庭裁判所の所長にあたる宇田川判事とともに、1947年に京都で発足しました。

法務省管轄の団体。様々な問題を抱える青少年に「兄」「姉」のような身近な存在として接し、一緒に悩み、一緒に学ぶことを通じて、少年たちの立ち直りや自立支援を行うとともに、犯罪・非行のない地域社会の実現を目指す青年ボランティア団体。現在、全国に2000人以上参加しています。

## 2 更生保護ボランティア三者



### BBS会

昭和22年 京都少年保護学生連盟発足

平成29年 BBS運動発足70周年

### 保護司会

昭和24年 更生保護制度発足

令和元年 更生保護制度施行70周年

### 更生保護女性会

昭和39年 全国更生保護婦人協議会発足

令和5年 第60回「更生保護女性の集い」

## 3 組織図



## 4 日本とアメリカのBBSの違い

	日本	アメリカ
組織	日本BBS連盟が法務省の管轄のもとに組織化されている。各都道府県に議決権を持った連盟がある。	各支部ごとが大きい組織として自立して運営をしている
企画	現場の学生・若手社会人などが、現場の実地経験をもとに企画を行う	グループワーク活動は、本部のケースワーカーなどの専門家によるエビデンスを元に企画
資金面	現状は、助成金がメイン	寄付金（NYのBBSでは、10億円をあつめている）
年齢層	18歳～60歳まで幅広くおり、保護司・更生保護女性会が兼務している地区もある	21歳以上（研修を受け理解できる年齢で設定）

そのため、日本のBBS会では、各地区会の地域の特色に合わせたグループワーク活動が行われています。

## 5 グループワーク



全国のBBS会員はいろいろなグループワークに取り組んでいます。活動場所は少年院、更生保護施設、家庭裁判所などから幼稚園や保育所まで、また施設の内外で行われています。

内容は、スポーツや料理など様々。グループワークを通して青少年と会話をしていきます。

## 6 ともだち活動

ともだち活動はBBS運動を特徴づける、運動の一つです。保護観察を受けている青少年をはじめ、様々な悩みを抱えている子ども達と、同じ世代のちょっと年長の「ともだち」としてふれあうことをとおして自立を支援する活動です。

このともだち活動は保護観察所のほか家庭裁判所や児童相談所などのさまざまな機関から依頼を受け、その指導のもとに行われます。

最近多いのが学習支援です。BBS会員は青少年とマンツーマンで、決められた期間内で支援を行います。

## 7 社会を明るくする運動

地区会によりますが、保護司会、更生保護女性会と連携して、非行防止をイベントを通して行います。

犯罪や非行のない安全で安心暮らしをかなえるために、今、何が求められているのか、そして、自分には何ができるのかを、考えるきっかけとして、各地域で7月に行われています。

例えば、和歌山では映画上映会、神戸の東灘では、地元住民や学生の方々のパフォーマンスなどです。



## 8 各地区の特色を生かした活動～施設訪問～

京都府BBS連盟では、近畿地方BBSの中でも多くの学生が所属しています。

そのため、現在、大阪の和泉学園（少年院）にて、学習支援を行っています。過去には、他の少年院や児童自立支援施設では、スポーツのグループワークを実施していました。

特に多いのが高校生の学生が、中学生の数学のやり直しの支援が多いようです。



## 9 他の団体との連携 4者連携

神戸の東灘地区BBS会では、保護司会、更生保護女性会、BBS会、甲南大学の4者連携を行っています。

この3者に大学が入ることで、学術的な目線からケースを考えることができ、また将来社会を担う学生も更生保護について現場の声から学習する機会も得ています。

保護司会、更生保護女性会、BBS会は日ごろ連携はしていますが、このような活動を通して、学び、悩みを共有し、地域とともに活動を拡げることを目指しています。



## 10 BBS活動から考える更生支援とは

BBS会では、観察所からの依頼で、保護観察後の青少年へのともだち活動・グループワークを主に行っていますが、時代とともに、不登校支援や悩みを持つ青少年への支援（予防活動）も行うようになりました。

こどもが抱える悩みは昔よりも見えにくい事柄のことだと感じます。

更生保護支援は地域の方々はまだ馴染みのないことだと感じます。

事件が近く起こって驚いたり、これは関係ない事だと感じる方も多いかと思えます。

「更生支援」にはみなさんの理解が必要です。ぜひ少しでも、興味をもっていただきたいと感じます。

